

海外安全対策情報（平成26年度第2四半期）

1 社会・治安情勢

（1）インドネシア大統領選挙

7月9日、大統領選挙の投票が行われたところ、民間の各世論調査機関が発表した速報（クックカウント）結果はそれぞれ異なり、両候補者が自己の優勢を伝える速報に基づき勝利宣言を行うなど、混乱を懸念する見方もありましたが、選挙管理委員会による正式開票結果の公表時（7月22日）など、当地においては、本大統領選挙に関する大きな混乱やトラブルは生じませんでした。

（2）テロ関連動向

バリ州においては、テロに関する事案は発生していません。

西ヌサ・トゥンガラ州ビマ県では、7月と9月に国家警察テロ特別捜査隊によるテロリスト（容疑者）の摘発が行われ、複数の容疑者が逮捕されています。また、同県では、イスラム国（ISIS）を支援する過激なグループの存在も指摘されています。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）犯罪傾向

観光地を中心に、外国人旅行者を狙ったと見られる「ひったくり」「スリ」「置き引き」といった盗難被害が多く発生しています。

特に、最近の特徴として、深夜・早朝時間帯のクタ・レギャン地区において、ナイトクラブ等で飲酒後にホテルへ帰る途中の旅行者を狙ったひったくりが頻発しており、邦人女性旅行者も多く被害に遭っています。

（2）邦人被害事案

次のとおり、邦人の事件・事故が当館へ報告されました。特に、深夜・早朝時間帯におけるひったくりには引き続き注意が必要です。

- ① 7月3日早朝、スミニャック地区で、ナイトクラブから友人のオートバイに同乗してホテルへ帰る途中の女性旅行者が、鞆をひったくられた。
- ② 7月17日深夜、ウブド地区で、友人の送迎によりホテル前で車両から降りた女性旅行者が、肩に掛けていた鞆の紐を切られ、鞆をひったくられた。
- ③ 8月13日深夜、クタ・レギャン地区で、ナイトクラブから徒歩でホテルへ帰る途中の女性旅行者が、鞆をひったくられた。
- ④ 8月20日早朝、クタ・レギャン地区で、深夜にナイトクラブからホテルへ帰るためタクシーを探していた女性旅行者が、鞆をひったくられた。
- ⑤ 9月3日深夜、クタ・レギャン地区で、ナイトクラブで飲食中の男性旅行者が、背負っていた鞆のチャックが開けられ、現金が抜き盗られた。
- ⑥ 9月6日深夜、クタ・レギャン地区で、ナイトクラブでダンスをしていた女性旅行者が、ズボンのポケットに入れてあったスマートフォンを抜き盗られた。
- ⑦ 9月上旬、ネットショッピングサイトを通じ、個人売主から宅送でオートバ

イを購入しようとした在留邦人が、警察官を名乗る者から電話で「当該オートバイは盗難車の疑いがある」等と指摘された上で言葉巧みに騙され、その対応として指定された銀行口座に現金を振り込まされた。

- ⑧ 9月23日早朝、クタ・レギャン地区で、ナイトクラブから友人のオートバイに同乗してホテルへ帰る途中の女性旅行者が、鞆をひったくられた。

(3) 邦人以外の被害事例

主な外国人に関する被害は次のとおりです。

- ① 9月12日早朝、ドイツ人男性が、犯人から因縁をつけられ、付近のコンビニ店に逃げ込んだところ、無理やり外に出されてナイフで脅され、携帯電話を奪われた。
 - ② 9月28日深夜、フランス人男性が、オートバイに乗った犯人に携帯電話を盗られ、取り戻そうとオートバイを掴んで引きずられたほか、犯人から殴打されて負傷した。
- ※ その他、多くの外国人旅行者も邦人同様にひったくり被害に遭っています。

3 テロ・爆弾事件発生状況

8月16日、西ヌサ・トゥンガラ州ビマ県において、警察分署長が何者かに射殺される事案が発生しました。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

誘拐・脅迫事件は発生していません。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

日系企業の安全に関わる問題は発生していません。

以上